

全国高校総体（インターハイ）「夢へ躍進」春の夏 近畿総体2026は28日、大阪府などで3競技が行われた。青森県勢はバスケットボール男子の八学光星が近大



近畿インターハイ

光星初戦突破

バスケット男子

付（大阪）に81-64で勝利し、初戦を突破した。2回戦は常磐（群馬）と対戦する。29日は大阪府などで同じ3競技が行われる。（千葉達也）

バスケットボール
（Asueアリーナ大阪ほか）
▽男子1回戦
八学光星 81
14192424
15191416
64 近大付
（大阪）

完全アウェー 守備戦術奏功

ハイライト

バスケットボール男子1回戦。得点のたび相手陣営が盛り上がる完全アウェー戦で、八学光星が開催地の近大付（大阪）を打ちのめした。前半の貯金を守り抜き、一度もリードを許さない快勝劇。攻守で存在感を示し

た大屋夢叶は「アウェーの雰囲気の中で勝ち切れたのは大きい。練習でやってきたことが出せた」と笑顔を見せた。

2回戦の相手は常磐（群馬）。春の練習試合では大差で勝利している。大屋は「油断せず、きょうのようにリバウンドと味方を生かすプレーで貢献したい。自分もつと得点を狙えれば」と気を引き締めていた。（千葉達也）



【バスケットボール男子1回戦・近大付ー八学光星】
第1クォーターに攻め込む八学光星の大屋夢叶
＝大阪市のAsueアリーナ大阪

攻撃では要所で角谷光煥斗の連続3点シュートなどが決まり、試合終了のブザーが鳴るまで一点たりともリードを許さず勝利。佐々木彰彦コーチは「相手も研究していたと思うが、それを上回る」ことができた。締まったいいゲームだった」と選手をたたえた。